



SAPPORO DOME REPORT

札幌ドームレポート 2021



北海道とともに20年。 私たちは、目指す未来に向かって 成長を続けます。

2021年、札幌ドームは開業20周年。

この地に誕生した日から

私たちは、多くの皆さまの笑顔を原動力に

20年を走り続けてきました。

ご来場いただいたお客さまは、累計で5,000万人以上。

札幌ドームがこれからも価値を高め、

皆さまに親しまれる「夢と感動のステージ」であり続けるために、

私たちは、新たな時代へのチャレンジを惜しみません。

目指す未来があるからこそ

この北海道とともに、成長を続けます。



2001 → 2021

CONTENTS

[編集方針]

- 本レポートは、当社とすべてのお客さま(ステークホルダー)をつなぐ重要なコミュニケーションツールとして位置付けています。2019年から「札幌ドームレポート」というタイトルで発行しています。
- 本レポートでは、当社のCSR活動についての報告のほか、SDGsの視点も含め、持続可能な社会の実現に向けた当社の考え方や取り組みを紹介したいと考えています。本レポートで掲載しきれなかった事業・データ等につきましては、当社webサイトで紹介しています。
- 本レポートについて、ご意見やご感想などをお気軽にお寄せください。

札幌ドーム webサイト
www.sapporo-dome.co.jp

[報告対象期間]

2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)の活動を対象としていますが、当社の事業活動をご理解いただくため、札幌ドーム開業からの取り組みについても紹介しています。

[発行]

2021年6月

※2008年から年次報告として毎年発行しています。

トップメッセージ	03
開業20周年記念事業	05
札幌ドームのあゆみ	09
札幌ドームとともに20年	12
数字で見る札幌ドームの20年	13
コロナ禍の2020年	15
札幌ドームが考える未来	21
札幌ドームの新たな価値創造	23
札幌ドームのCSRとSDGs	25
視点 01 すべてのお客さまのために	27
視点 02 地域社会とともに	28
視点 03 公正に事業を推進するために	29
視点 04 社員とともに	30
視点 05 環境にやさしい施設を目指して	31
資料	33
第三者意見	34

札幌ドームの存在意義を高めるため、 開業20周年を機に、新たな価値の創造へ。



札幌ドームの基礎を築いた パイオニアのチャレンジ精神

私たち札幌ドームは2021年、開業20周年を迎えることができました。ここまで来られたのは、言うまでもなく札幌ドームに関わるすべてのお客さまのおかげです。札幌ドームを舞台に活躍するスポーツ選手やアーティストの皆さま、これまでご来場くださった累計5,000万人以上のお客さま、札幌ドームを支え、ともに働く皆さま、そして札幌ドームのあるまちに暮らす市民道民の皆さま、そうした私たちにとってすべてのお客さまのご協力とご支援に、心より感謝を申し上げます。

開業20周年という節目に札幌ドームのあゆみを振り返ると、さまざまなチャレンジを重ねてきた20年だったとあらためて感じます。特に開業当時の社員は、何もないところから札幌ドームをつくり上げていったパイオニアであり、心から敬意を表します。そのチャレンジ精神や不屈の努力が、札幌ドームの基礎を築いたと言っても過言ではありません。さらに、そうした社員の大半が20年後の現在も在籍し、屋台骨として支えてくれていることを心強く思います。

2023年には、札幌ドームの最大の利用者であります北海道日本ハムファイターズさまが北広島市の新球場に移転しますが、その後の札幌ドームの活用策について全社で検討を進めている中で、開業当時の社員が「よし、自分たちの出番だ」と気概を見せてくれているのは頼もしいことです。開業20周年という節目に札幌ドームの創成期に思いをはせ、私も社員とともに新しい札幌ドームをつくっていかうと奮い立っています。

コロナ禍で得たノウハウと 未来への思考力を生かす

2020年度は、札幌ドームにとってまさに試練の年でした。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年3月に開催された無観客でのプロ野球オープン戦以降、6月までに予定されていたイベントは軒並み中止や延期となり、約3カ月間の空白期間を経験しました【P.15参照】。コロナ禍でイベント開催がまったくないという事態は非常に厳しいものでしたが、身動きが取れないとなれば、前向きに思考するしかありません。ですから、社員には「生活の心配はしなくていい。だから安心して、今後のためにいろいろなアイデアを考えてほしい」と言いました。社員もその時間を有効に使い、将来に向けた良いアイデアをたくさん出してくれました。

その後、プロ野球は無観客、サッカーJリーグは上限5,000人で試合を再開し、シーズン後半は、収容人数50%の2万人を上限としてお客さまをお迎えできるようになりました【P.17参照】。十分にソーシャルディスタンスを保ちながら2万人規模のイベントができるのは、札幌ドームならではの強みといえます。また、コロナ禍が長期化する中でも、きちんと感染防止対策をしながら安全にイベントを運営できるノウハウを獲得したことは、私たちの大きな自信になりました。

そうした対応を進める中で、あるとき、社員たちに「反実仮想」の話をしたことがあります。反実仮想とは、薩摩藩の子どもたちが実践していた自学自習のことです。「もしも、いま当たり前に行っていることができなかったらどうするか」という仮説を立て学び合う訓練によって、思考力

が磨かれ、後に幕末の偉人たちが薩摩藩から多く輩出されることにつながったといいます。私たちも常にそういう考え方を持って、前進していかなくてはなりません。

2023年以降の安定経営と 札幌ドームのファンづくり

現在、私たちは2022年度からの新長期ビジョンおよび新中期経営計画の策定準備を進めています。その中で重要課題は、2023年以降の安定経営の形をつくること、そして札幌ドームファンを着実に増やしていくことです。

札幌ドームはこれまで、「スポーツパーク」を基盤にさまざまなイベントや企画を展開してきました。今後はさらに、一般のお客さまや企業、団体、学校などにも、例えば入社式、入学式、運動会、成人式など、より多様な形で使っていただき、「スポーツ文化パーク」としての成長を目指します。また、これまで数多くの名場面を生んできた野球場としての価値は、今後も変わりません。アマチュア野球にもどんどん活用していただきたいですし、このすばらしい野球場で今後も多くの皆さまにプロ野球観戦を楽しんでいただくために、2023年以降のファイターズ戦のうち、平日ナイターの一部を札幌ドームで開催していただけるようお願いしているところです。

開業20周年は一つの大きな区切りです。次の新たな価値の創造に向けて社員一丸となってチャレンジし、一つの方向に向かっていくことで、札幌ドームの存在意義をより一層高めていきたいと考えています。

代表取締役社長 山川 広行

感謝の気持ちを込めて 開業20周年スペシャルデー



札幌ドームが開業20周年を迎える2021年。その幕開けとなったスポーツイベントが、2月27日に開催された「北海道コンサドーレ札幌×横浜FC」戦。札幌ドーム開業20周年スペシャルデーとして開催し、会場にお越しいただいたお客さまに感謝の気持ちを伝えました。

札幌ドーム20周年ロゴとコンサドーレ25周年ロゴの入ったセンターサークルバナー。応募により当選した、札幌ドームメンバーズクラブ会員が、選手入場時にバナーを掲出する役割で参加する演出で盛り上げました



北海道コンサドーレ札幌との連携で開催

サッカーJ1リーグ「北海道コンサドーレ札幌」の2021シーズン開幕戦となった2月27日。ご来場くださったお客さまにコンサドーレ戦を存分に楽しんでいただこうと、この日を「札幌ドーム開業20周年スペシャルデー」として、お祝いムードの企画や演出でお客さまをお迎えしました。

また、札幌ドーム開業当初からホームスタジアムとしてともに歩んできた北海道コンサドーレ札幌も、2021年がクラブ創設25周年という節目の年。開幕の歓喜に包まれる会場の中で、今後も北海道を盛り上げていくパートナーとしてさらなる連携と躍進を誓いました。

ダブル周年企画で記念に残る演出

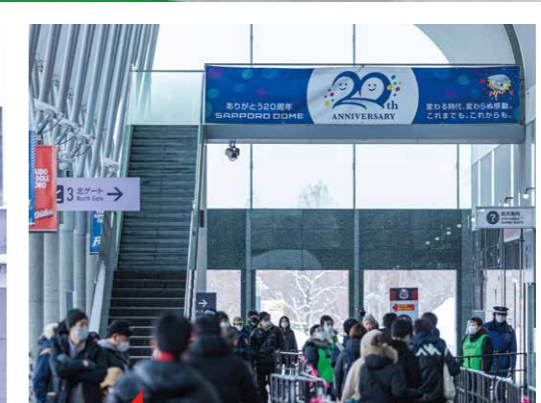
当日は、ゲート前に設置した巨大なバルーンアートでご来場のお客さまをお迎えしたほか、ノベルティとして「札幌ドーム×コンサドーレ オリジナルコルクコースター」や、太鼓判メニュー、必勝弁当などが割引になる「コンサドーレスクラッチくじ」を配布しました。また、札幌ドームメンバーズクラブ会員限定で参加できる企画として、ピッチでの練習見学や、選手入場時に掲出するセンターサークルバナーのベアラーとしての参加なども展開しました。

コロナ禍で収容人数を50%に制限する中、会場は1万人以上のお客さまの熱気にあふれ、札幌ドームと北海道コンサドーレ札幌双方の周年記念にふさわしい日となりました。



札幌ドームメンバーズクラブ会員限定の企画として、ピッチ付近からの練習見学を楽しんでいただきました

ゴール裏のLED広告を活用し、20周年PRを行いました



タウンなどの屋外にも開業20周年記念装飾を行い、お客さまをお迎えしています

開業20周年PR画像を館内デジタルサイネージで放映しました

05 SAPPORO DOME REPORT 2021

06 SAPPORO DOME REPORT 2021



パフォーマーKUROさんプロデュースの「大型バルーンアート」で華やかにお出迎え。チャームコロンを中心に、札幌ドームの森に暮らすたくさんの生きものたちが集まりました

ご来場いただいた皆さまには、スペシャルデー限定特典のオリジナルコルクコースターと、その場で200円券が当たるスクラッチくじをお配りしました



札幌ドームの周年メッセージを 多くの皆さまに届けるために



札幌ドームを支えてくださっている皆さまに20年間の感謝の気持ちをお届けするため、さまざまな事業に取り組んでいます。

開業20周年スペシャルPVを制作しました

札幌ドームでは、開業20周年を記念してスペシャルPVを制作しました。これまでの20年間のあゆみを振り返るとともに、今後も夢と感動のステージであり続ける札幌ドームの姿を表現しました。

なお、この動画では、北海道出身のアーティスト「TRIPLANE」に、札幌ドーム開業20周年オリジナルソング「シンボリック」を制作していただきました。



札幌ドーム開業20周年スペシャルPV (YouTube 札幌ドーム公式チャンネルにて公開中)

開業20周年オリジナルソング制作「TRIPLANE」のコメント

札幌ドーム開業20周年オリジナルソングのお話をいただき、札幌市出身者としてとても光栄でした。一観客の立場としても、とてつもなく思い入れのある場所ですし、バンド結成以来目標にしてきた場所でもあるので、

楽曲の制作にとっても力が入りました。これまでの貢献と、これから先の未来の札幌ドームの姿や存在感、期待感を曲に込めました。たくさんの方に愛される曲に育ってくれることを、心から願っています。



開業20周年記念ロゴマークを公募しました

ご来場のお客さまや地域の皆さまに開業20周年を広く知っていただくためのロゴマークを公募し、計937点の応募作品の中から、最優秀賞(採用作品)を決定しました。

【最優秀作品コンセプト】

20の数字にある2つの顔は、札幌ドームで熱演し、躍動するヒーロー、ヒロインたちとそれを観賞する人たち、両方の笑顔を象徴しています。また、シンプルな目口は雪だるまも連想させます。まわりのカラフルな図形はドームに降り積もる「夢」のイメージで、多彩なイベントがあることを表現しています。

開業20周年ロゴマーク最優秀賞 手嶋 雅晴 氏 (千葉県・アートディレクター)

このたびは最優秀賞をいただき、大変うれしく感謝申し上げます。札幌ドームの開業20周年という記念すべきロゴマークに採用いただけたことは、デザインを仕事としている自分にとって、仕事の励みになります。私は

小樽市の出身で、子どもの頃、祖父に連れられよく札幌に行った思い出があり、それゆえに札幌には縁を感じます。北海道のスポーツ、エンターテインメントの発信地として、これからますますの発展を願っております。

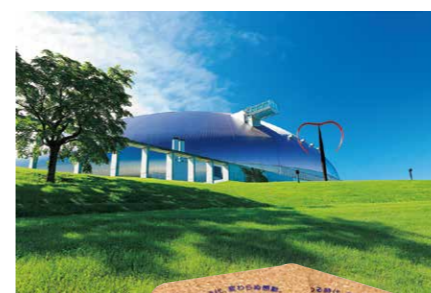


ご来場の記念になる 各種キャンペーンを展開

札幌ドームでは、2021年1~12月を「開業20周年イヤー」と位置づけ、各種キャンペーンに取り組んでいます。

■ 展望台SNSキャンペーン

期間中に展望台からの景色を写真に撮り、「#札幌ドーム展望台」を付けてSNSに投稿いただいた方全員に、20周年特別プレゼントを進呈するキャンペーンです。



ポストカードや
コースターなどを
プレゼント

■ 開業20周年記念特別ツアー

通常のドームツアーに含まれない4階の貴賓室とスイートシートを、見学コースに特別に組み入れました。また、開業当時のポスターや、初ゴール・初ホームランボールなど、札幌ドームにまつわるメモリアル品も展示しています。



貴賓室(上)とスイートシート(下)



しおりとして
使える
ドームツアーの
参加チケット

■ 札幌ドーム メンバーズクラブ 会員限定キャンペーン

メンバーズクラブ会員限定の特典として、イベントが開催されない日などの駐車場無料、展望台入場料無料、トレーニングルーム利用料が20%割引になるキャンペーンを展開しています。

■ 展望台年間パスポート

期間中、札幌ドームの展望台に何度でも行ける年間パスポートを販売。通常、1回の入場料が大人520円、子ども320円のところ、1枚(大人1,000円、子ども500円)で1年間通い放題のお得なパスとなっています。



VOICE

「感謝」と「未来」をテーマに、 札幌ドームの願いを表現しました。



経営企画室
広報課
課長代理
藤田 なお
Fujita Nao
2009年入社

開業20周年事業は、社内のプロジェクトメンバーを中心に、2019年夏ごろから準備を進めました。議論を重ねる中で、事業のテーマに掲げたのは「感謝」と「未来」。これまで札幌ドームを支えてくださった多くの皆さまへの「感謝」とともに、今後もお客さまに楽しんでいただける場所であり続けるために「未来」へつなげようという願いを込めています。

このページでご紹介したさまざまな事業に加え、TwitterやYouTubeなどSNSでの情報発信も始めました。YouTubeの公式チャンネルでは、開業20周年スペシャルPVをはじめ、今後も

札幌ドームの多彩な魅力を動画でお届けしていきますのでご期待ください。

さらに「社員の方向性を合わせよう」という社内向けテーマも掲げました。全社員が原点に返って心をつにし、いままで以上に目標や展望を共有していくことが重要だと思います。札幌ドームの変わらない使命は、市民道民の皆さまにとって「夢と感動のステージ」であり続けること。そのために私たちは、お客さまの声に耳を傾け、ホスピタリティを大切に、さらに進化していきたいと思っています。

札幌ドームのあゆみ

多目的施設として価値を高めてきた札幌ドームのあゆみを紹介します。



1998
(平成10年)
2002年FIFAワールドカップ™の開催に向けて建設されることになった札幌ドームは、1998年6月に着工。管理運営を担う株式会社札幌ドームは、同年10月に設立されました。



▲札幌ドームの輪郭が現れ始めた頃(1998年)



▲国内初「ドーム展望台」の鉄骨取り付け(1999年)

1999
(平成11年)
屋根を両端から組み立て、頂上でドッキングさせる鉄骨工事は順調に進み、1999年末には屋根がほぼ完成しました。



▲竣工まもない札幌ドームの外観(2001年)



▲アリーナ内観の工事(2000年)

2000
(平成12年)
外観の仕上げとともに内部の工事が進行。世界初の「ホヴァリングサッカーステージ」の施工も進み、全貌がほぼ明らかになりました。



▲オープニングセレモニー(2001年)

2001
(平成13年)
6月2日
2001年5月、札幌ドーム竣工。6月2日に開業し、記念イベントとしてオープニングセレモニーを実施しました。7月には、コンサドーレ札幌のJリーグ公式戦が初めて開催されました。



▲コンサドーレ札幌戦(2001年)



▲試合観戦に向かう各国のサポーター(2002年)

2002
(平成14年)
6月、2002FIFAワールドカップ™が開催され、札幌ドームでは1次リーグ3試合が行われました。7月には、日本ハムファイターズのフランチャイズ移転が正式に決定しました。



▲記者会見の様子(2002年)



▲歓喜に包まれるファイターズ戦(2004年)

2003
(平成15年)
海外大物アーティストによる札幌ドームでのコンサートが次々と実現。また、日本ハムファイターズの移転を翌年に控え、敷地内に両フランチャイズチームのオフィス棟が完成しました。



▲SHINJO選手の入団が話題に(2004年)



▲人工芝の張り替え工事(2005年)

2004
(平成16年)
3月、「北海道日本ハムファイターズ」が誕生。札幌ドームは国内唯一のサッカーと野球、2つのプロチームの本拠地となりました。



▶大型複合遊具「キッズパーク」(2006年)

2005
(平成17年)
2004年から開発を進めていた野球用の人工芝の更新を、開業以来、初めて行いました。



▲北海道日本ハムファイターズが日本一に(2006年)

2006
(平成18年)
開業5周年を記念し、「メモリアルコーナー」や大型複合遊具「キッズパーク」を設置しました。10月には、北海道日本ハムファイターズが44年ぶりに日本一になり、北海道全体が歓喜に包まれました。



▶来場者数1,000万人突破(2006年)



▲北海道日本ハムファイターズが2年連続パ・リーグ優勝(2007年)



▲コンサドーレ札幌がJ2優勝(2007年)



▲2008FIA世界ラリー選手権第14戦パイオニア・カロツェリアラリージャパン(2008年)



▲来場者数2,000万人突破(2009年)



▶フィールドシート設置(2009年)



▲展望台でのコンサート開催(2010年)



▲6時間リレーマラソン初開催(2011年)



▲札幌モーターショー(2012年)



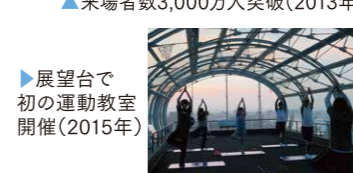
▲トヨタ・ビッグ・エア(2012年)



▲来場者数3,000万人突破(2013年)



▶「グッズ☆ジャム」リニューアル(2014年)



▶展望台で初の運動教室開催(2015年)



▲大型ビジョンの更新・増設(2015年)



▲サッポロ モノ ヴィレッジ(2016年)



▲来場者数4,000万人突破(2016年)



▲J2リーグ優勝、J1昇格が決定(2016年)

コンサドーレ札幌はJ2優勝を決め、目標だったJ1へ復帰。北海道日本ハムファイターズも、2年連続でパ・リーグ優勝を果たしました。「FISノルディックスキー世界選手権札幌大会」は大会史上初の屋内開催で、世界中から注目を集めました。

2007
(平成19年)

アリーナにコースを設置した「2008FIA世界ラリージャパン選手権」を開催。また、2020年に活動を休止した「嵐」のコンサートは、この年から2019年まで計13回、札幌ドームで開催されました。

2008
(平成20年)

北海道日本ハムファイターズが2年ぶり3度目のパ・リーグ優勝。また、プレーをより間近でご覧いただけるようフィールドシートを設置しました。

2009
(平成21年)

初めての試みとして、展望台でコンサートを開催しました。

2010
(平成22年)

開業10周年の目玉イベントとして「6時間リレーマラソン」を初開催。また、コンサドーレ札幌は4年ぶりにJ1昇格を果たしました。

2011
(平成23年)

「札幌モーターショー」「トヨタ・ビッグ・エア」を初開催。多目的施設としての可能性をさらに追求していきました。

2012
(平成24年)

北海道日本ハムファイターズに大谷翔平選手が入団し、1年目から二刀流として素晴らしい記録を残しました。また、来場者数3,000万人突破を記念し、敷地内に「感謝の森」を造成しました。

2013
(平成25年)

「麒麟チャレンジカップ」や「日米野球」などの注目イベントが数々開催されました。また、グッズショップ「グッズ☆ジャム」の拡張リニューアル工事を行いました。

2014
(平成26年)

開業時から使用していた大型ビジョンを更新・増設。野球の国際大会「WBSCプレミア12」の開幕戦が開催されたほか、展望台での運動教室を初開催しました。

2015
(平成27年)

開業15周年を記念し、「サッポロモノヴィレッジ」を初開催。コンサドーレ札幌はチーム名を「北海道コンサドーレ札幌」に改称し、J2リーグで優勝。北海道日本ハムファイターズは再び日本一となりました。また、冬季間敷地内で雪遊びができる「ゆきひろば」を開設しました。

2016
(平成28年)

チャームコロン誕生(2016年)

●**2017** (平成29年) 「2017冬季アジア大会開会式」を開催。北海道コンサドーレ札幌は16年ぶりにJ1残留を勝ち取りました。



▲ホヴァリングサッカーステージ天然芝更新(2018年)



▲屋外エスカレーターを設置(2019年)

●**2018** (平成30年) 開業以来初となるホヴァリングサッカーステージの天然芝を全面更新。9月6日には北海道胆振東部地震が発生。翌日の「キリンチャレンジカップ」は中止となりました。

●**2019** (平成31年・令和元年) 「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」を開催。また、「ほっかいどう大運動会」が初めて開催されました。また、お客さまの利便性向上のため、屋外エスカレーターを設置しました。



▲来場者数5,000万人突破(2019年)



▲ラグビーワールドカップ2019™日本大会(2019年)

●**2020** (令和2年) 2月下旬頃から、新型コロナウイルスの影響で館内施設の休業やイベントの中止が相次ぎ、これまでに経験したことのない厳しい1年となりました。



ホスピタリティと五感を大切にしています。

株式会社アサヒファシリティズ
事業所長

山田 敦史氏

Yamada Atsushi

当社は、施設の設備管理を担っています。札幌ドームを快適にお使いいただけるよう、空調・給排水・衛生・消防などすべての機械設備の保守点検を行うことが基本となります。もちろん、故障などがあれば迅速に修理を行います。

札幌ドームは施設規模が大きく、20年前は、図面にとらめっこをしながら必死に設備を覚えました。毎日の巡回点検で心がけているのは、機械音などのちょっとした異変に気づくことです。イベント中に故障などを起こさないために、日頃から緊張感をもって対応しています。

私は職業人として、札幌ドームに育ててもらったと思っています。人にも設備にもホスピタリティを大切に、五感を使って設備の安全を守るよう、今後も後進の指導に当たっていきます。



自分を育ててくれた特別な場所です。

株式会社オーテック
企画推進本部
大型ビジョンオペレーター

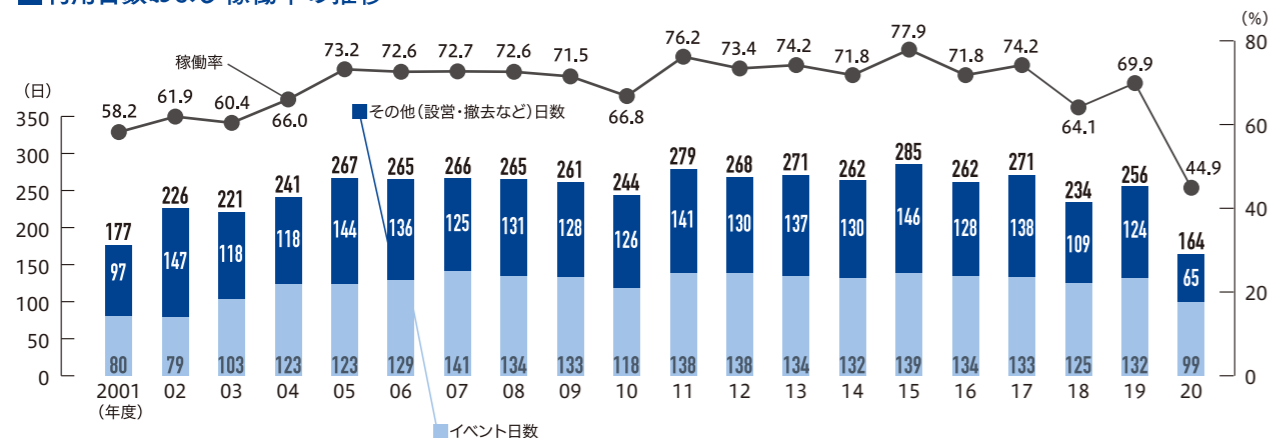
横山 貴哉氏

Yokoyama Takaya

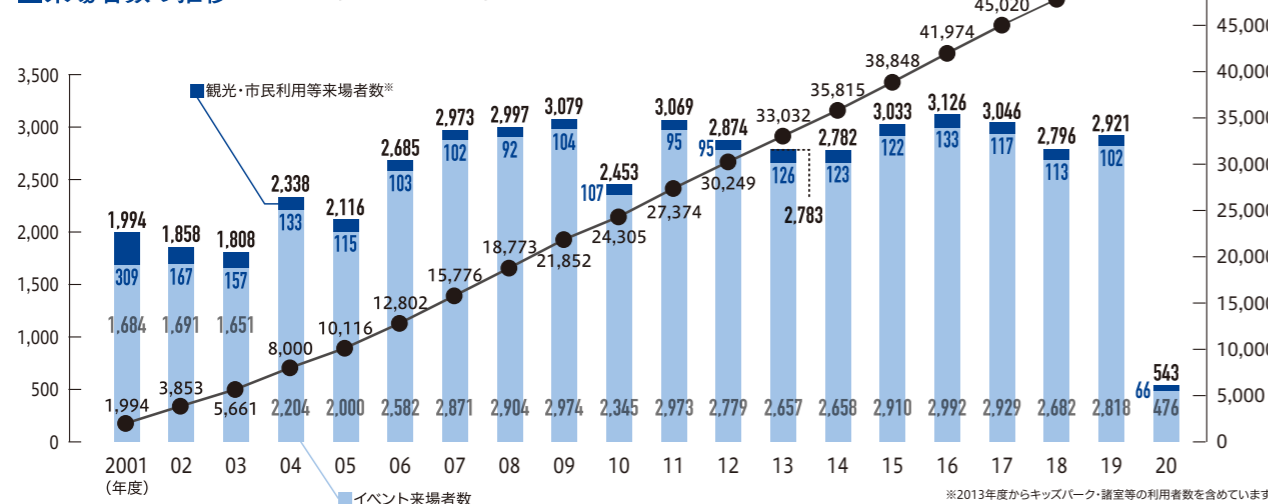
札幌ドームのオープニングセレモニーから大型ビジョンのオペレーションを担当しています。これから4万人以上のお客さまの前で仕事ができるのかと、胸が高鳴りました。北海道では誰も経験していない、未知の世界へ足を踏み入れるような気持ちでした。あれから20年。印象的な場面はたくさんありますが、特にスポーツ選手が素晴らしい記録を達成したときは、ビジョンを通して精一杯たたえたいし、同じ場にいられてよかったと感じます。

お客さまに楽しんでいただくために何ができるのかを常に考え、試行錯誤の日々です。札幌ドームは、いまの自分を育ててくれた特別な場所。今後も多種多様なニーズにしっかり応えられるよう、スキルアップしながら進化し続けたいと思っています。

■利用日数および稼働率の推移



■来場者数の推移 単位:千人(千人未満切り捨て)



札幌ドームとともに20年

開業以来、札幌ドームの管理運営を支えてくださっている委託事業者さまを紹介します。



喜びと愛着をもって笑顔で仕事をしたい。

中央ビルメンテナンス株式会社

松橋 祐希氏

Matsuhashi Yuuki

警備業務を担う当社の役割は、不審者や不審な荷物を入れないこと。私は守衛所で受付を担当しています。主な仕事は出入管理で、イベント開催日など関係事業者さまの出入りが多いときには、一日約300人の受付を行います。現在は新型コロナウイルス感染防止対策として2段階検温も行うので、毎日大忙しです。また、拾得物の管理も守衛所の仕事で、1回のイベントで発生する100個以上の拾得物をすべてリスト化し、3カ月の保管期間中のお問い合わせに対応しています。

札幌ドームは、社会人経験20年のすべてを過ごしてきた大好きな場所。警備という仕事柄、緊張感はもちろん必要ですが、こういうワクワクする施設にいる以上、自分自身も働くことに喜びと愛着を感じられるように、これからも笑顔で仕事をしていきたいと思っています。



感動の場の一員であることが誇りです。

株式会社ベルックス
札幌事業部第二課
(札幌ドーム副統括責任者)

櫻井 覚氏

Sakurai Satoru

当社が担う清掃業務は、開業前の竣工清掃からスタートしました。初めて屋内アリーナを見たときは、まず大きさに圧倒されました！こんなにエキサイティングな施設に関わることができるのだと、あらためて喜びをかみしめました。ただ、完成前の建物内部は土埃に埋もれているような状態。スタンド席は清掃用の電力が供給されないため、ほうきや濡れ雑巾を使って手作業で清掃するよりほかに、1日30~40人で頑張ったのですが、完了まで数カ月かかってしまいました。でも、スタッフみんなでかけがえのない達成感を共有でき、いまではとても良い思い出です。

一期一会の場であるイベントには、たくさんの人の手がかかっています。私たちも、そんな一員であることを誇りに感じています。札幌ドームには、これからも数多くの感動を紡いでいってほしいです。

数字で見る札幌ドームの20年

札幌ドームにまつわる数字をひも解くと、新たな発見がたくさん！
開業からの20年間(2001年6月～2021年3月)で積み重ねた数字の秘密を紹介します。

【ご来場いただいたお客さまの人数】

51,282,072人

イベント来場者4,879万人、観光利用144万人、一般市民利用86万人、その他(諸室・キッズパークなど)17万人など、たくさんのお客さまにご来場いただきました。これからも、札幌ドームが笑顔のあふれる場であり続けられるよう、安全・安心なイベント運営や丁寧な施設管理を続けていきます。



【プロ野球通算本塁打数】

1,630本

プロ野球の試合中、目の前で見るとホームランの感動はひとしお。では、**札幌ドームの20年間で、最も多くホームランを打ったプロ野球選手は誰でしょう？** ヒントは「2020年度札幌ドームMVP賞」に輝いた選手。皆さんの心に残る札幌ドームでのナンバーワンホームランは誰の一打でしょうか。



▶クイズの答えはP.33を見てね!

【コンサートを開催したアーティスト数】

32組

〈公演日数ランキング〉

- ①嵐(35日)
- ②SMAP(18日)
- ③EXILE(11日)
- ④関ジャニ∞(8日)
- ⑤B'z/Mr.Children/サザンオールスターズ(6日)

札幌ドームの20年間で、コンサートを開催したアーティスト数は計32組。そのたびに札幌ドームは、アーティストの皆さんの輝きとファンの皆さんの熱気に包まれました。



【イベント利用日数】

2,467日

プロ野球1,243日、プロサッカー253日、アマチュアスポーツ267日、コンベンション265日、その他スポーツ(ラグビーなど)142日、コンサート134日、その他76日、そして札幌ドームの主催・共催イベントは87日開催しました。

【場面転換回数】

1,292日

この20年間、平均6日に1回の割合で場面転換を行いました。札幌ドームでさまざまなイベントが開催できるのは、世界初の技術であるホヴァリングサッカーステージの移動による「場面転換」があってこそ。毎回、プロフェッショナルな仕事により確実な場面転換が行われてきたことで、無事にイベント開催を迎えることができました。



【施設改修工事等の総額】

58億1,827万円

驚きの!!

〈工事金額ベスト5〉

- | | |
|----------------------|-------|
| ①大型ビジョン更新(2014年度) | 8.2億円 |
| ②人工芝更新(2回目/2012年度) | 3.4億円 |
| ③人工芝更新(3回目/2018年度) | 3.2億円 |
| ④人工芝更新(1回目/2004年度) | 3.1億円 |
| ⑤屋外エスカレーター設置(2018年度) | 1.8億円 |

札幌ドームはより快適な施設を目指し、これからも施設改修を進めていきます。



【プロサッカー通算ゴール数】

707 GOAL

プロサッカーの試合で最も盛り上がるのが、ゴールの瞬間。では、**札幌ドームの20年間で、最も多くゴールを決めたプロサッカー選手は誰でしょう？** ヒントは「2014年度札幌ドームMVP賞」に輝いた選手。皆さんが札幌ドームで目撃した、思い出のゴールはいくつありますか。



▶クイズの答えはP.33を見てね!

【開業以降に在籍した社員数】

198名

※現在の在籍者67名を含む
※アルバイト社員は除く



開業当初から在籍している社員は現在19名。札幌市や民間企業からの派遣によりご尽力いただいた皆さまをはじめ、たくさんの方々を支えられ、開業20周年を迎えることができました。これまでの歴史を築き上げてきた皆さまへの感謝の気持ちを胸に、これからも社員一丸となって札幌ドームの未来を切り拓いていきます。

コロナ禍を機に、札幌ドームの価値を再認識。 強みを最大限に生かす取り組みを進めています。

新型コロナウイルス感染症が、世界中の日常を塗り替えた2020年。
2月末に北海道独自の緊急事態宣言が発令され、3月のプロ野球オープン戦は無観客試合となり、その他のイベントはすべて中止や延期となりました。
館内各施設も5月まで営業休止となり（一部除く）、再びイベントを開催できるようになったのは6月末の無観客でのプロ野球公式戦でした。
その後はプロ野球・プロサッカーでは入場者数の制限が行われたほか、展望台やトレーニングルームについては入場者数を一部制限するなどして、営業を行いました。
7月から開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックも2021年に延期となりました。
刻々と変化する感染状況に当社も大きな影響を受け、北海道で最も多くのお客さまをお迎えできる施設としての責任を私たちはいま再認識しています。
これからも札幌ドームが「夢と感動のステージ」であり続けるために、お客さまの安全・安心を第一に感染防止対策を徹底していくと同時に、人々の賑わいを感じられる空間となるよう、全力で取り組みを進めていきます。

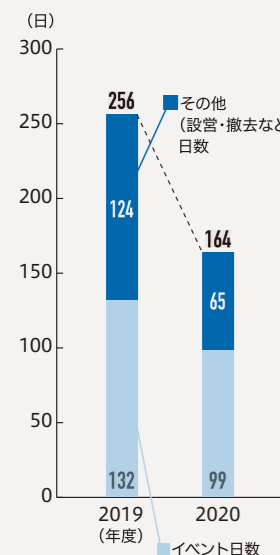


イベント数・来場者数が減少

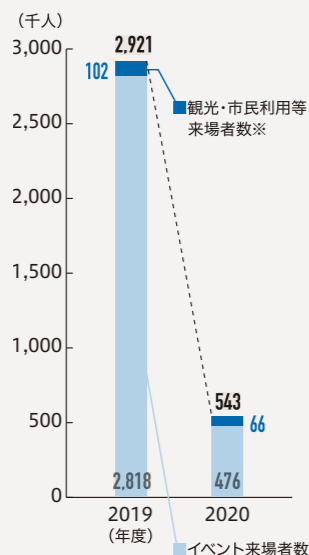
感染の拡大により、2020年度に予定されていたイベントは次々と中止や延期となり、2019年度には132日だったイベント開催日数は2020年度は99日となりました。

これに伴い、2019年度には281万8,162人のお客さまにイベントにご来場いただいていたましたが、2020年度のイベント来場者数は47万6,983人と大幅に減少しました。

【利用日数の比較】



【来場者数の比較】



【新型コロナウイルス感染症の影響により 中止等となったイベント】

*開催が未公表のイベントは除く

●2019年度(2019年4月~2020年3月)

予定日付	イベント名	状況
3/ 9(月) 10(火)	マイナビ就職EXPO	中止
3/28(土) 29(日)	サッポロモノヴィレッジ	中止

●2020年度(2020年4月~2021年3月)

予定日付	イベント名	状況
7/22(水) 23(木祝) 25(土) 26(日) 29(水)	東京2020オリンピックサッカー(男子3試合・女子2試合)	延期
9/12(土)	6時間リレーマラソン	中止
9/26(土)	日本青年会議所全国大会	中止
12/19(土)	GLAY DOME TOUR 2020	会場変更
12/26(土)	AAA DOME TOUR 2020	延期
1/ 9(土) 10(日) 11(月祝)	ふわふわアドベンチャー	中止
1/10(日)	札幌市成人式	中止
(未発表)	コンサドーレ・エスポラーダカップ	中止
2/7(日)	札幌国際スキーマラソン	オンライン開催
(未発表)	環境広場さっぽろ	オンライン開催
(未発表)	ほっかいどう大運動会	オンライン開催

社員一人ひとりが感染防止対策を徹底

お客さまに安心してご来場いただくためには、何よりも社員の感染を防ぐための対策を徹底することが重要と考えており、イベントの有無や部署ごとのマニュアルの策定、体調不良時や感染者発生時の対応フローなどを策定しています。社員のデスクと打ち合わせテーブルにはクリアボードを設置し、自席は退勤時に、打ち合わせテーブルは都度必ず消毒をしています。さらに、毎日の打ち合わせなどの行動記録表の記入も行っています。

また、当社の業務に則した「在宅勤務ガイドライン」を定め、社員の在宅勤務の推進にも取り組んでいます。社員一人ひとりが「感染しない、させないことが大事な仕事」と認識し、日々感染防止対策の実践に努めています。

【リスク部会を開催し状況を確認】

社内外の感染状況の確認および社員・スタッフの対策方針検討のため、各部長で構成する「事業運営リスク部会」を月1回程度のペースで開催しています。



「リスク部会」の様子



入館時には手指消毒と検温が必須です

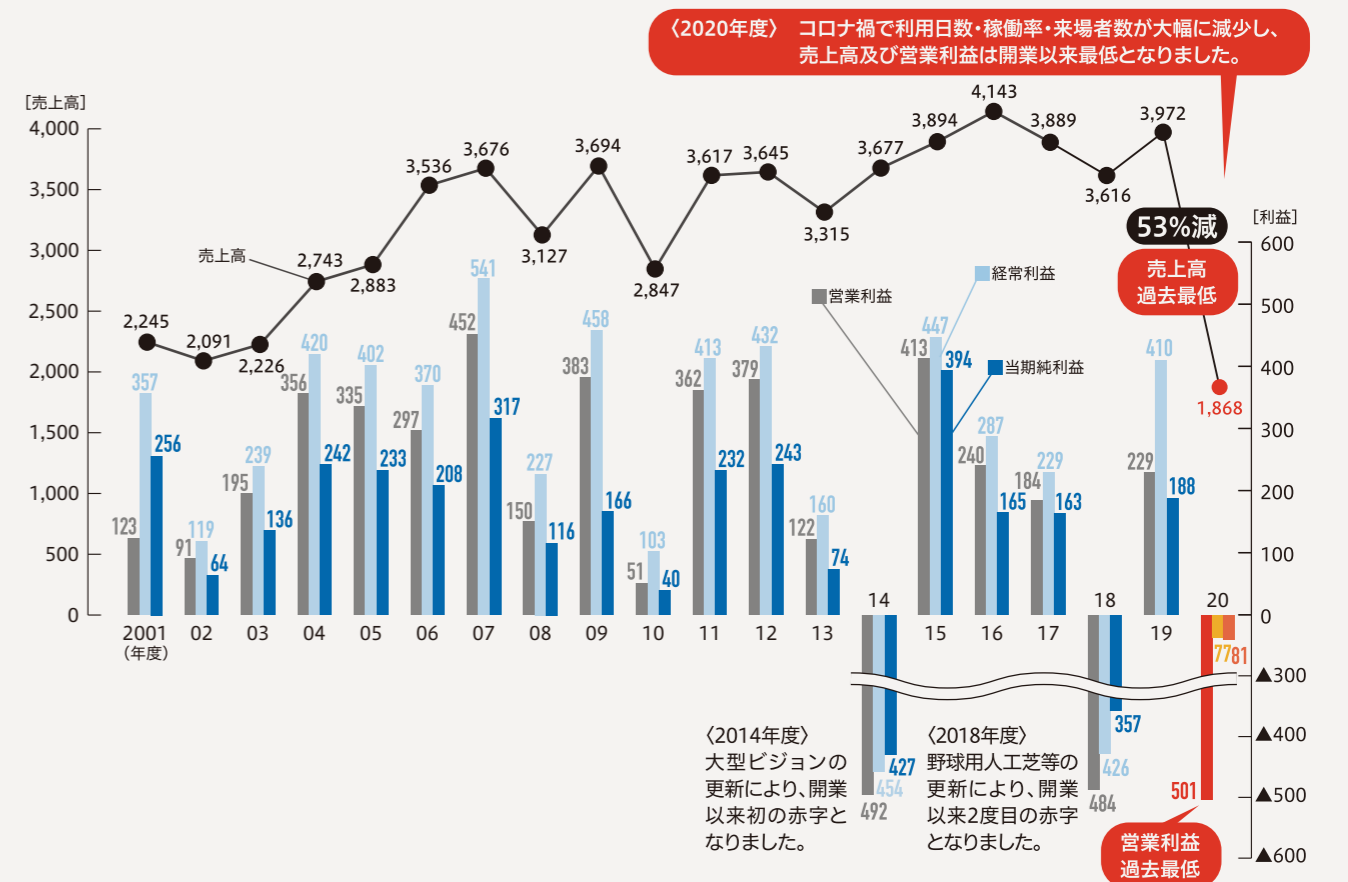
日付	時間	出席者	議題	議決事項	担当	備考
4/15(木)	10:00 - 12:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	13:00 - 15:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	16:00 - 18:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	19:00 - 21:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	22:00 - 24:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	25:00 - 27:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	28:00 - 30:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	31:00 - 33:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	34:00 - 36:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	37:00 - 39:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	40:00 - 42:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	43:00 - 45:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	46:00 - 48:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	49:00 - 51:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	52:00 - 54:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	55:00 - 57:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	58:00 - 60:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	61:00 - 63:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	64:00 - 66:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	67:00 - 69:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	70:00 - 72:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	73:00 - 75:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	76:00 - 78:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	79:00 - 81:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	82:00 - 84:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	85:00 - 87:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	88:00 - 90:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	91:00 - 93:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	94:00 - 96:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	97:00 - 99:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	
4/15(木)	100:00 - 102:00	部長	感染防止対策	感染防止対策の徹底	部長	

社員全員が毎日の記入を義務付けられている行動記録表



打ち合わせテーブルに設置されたクリアボード

【業績の推移】 単位：百万円(百万円未満切り捨て)



お客さまに安心してお楽しみいただくために 主催者さまと、万全の感染防止対策を実施しています。

2020年5月25日、国の緊急事態宣言が解除され、Jリーグとプロ野球の試合再開に向け動き出しました。札幌ドームでは、各主催者さまや札幌市と連携しながら新型コロナウイルス感染防止対策の検討を重ねました。そして再開後、初めてお客さまをお迎えして開催された、7月14日のプロ野球公式戦。歓声を上げての応援ができないなど制限が多い中でも、マスクでは隠せないほどの笑顔と喜びがスタジアムに戻りました。数千人から2万人近いお客さまをお迎えしても、ソーシャルディスタンスを保ち、ゆったりと安心してイベントをお楽しみいただける札幌ドームの価値を再認識することができました。

Jリーグ・プロ野球の試合を開催

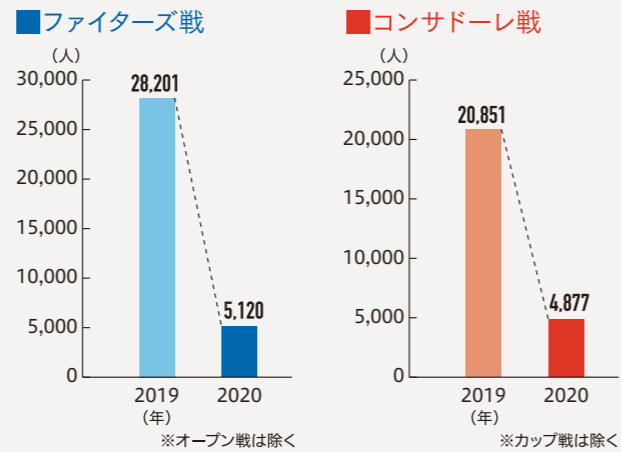
お客さまに安全に観戦していただくために、札幌ドームでは、各主催者さまと綿密に連携し感染防止対策を行いました。来場者数は各主催者さまの判断により制限され、客席は間隔を空けて配置。入場ゲートには検温用のサーモグラフィと確認用ディスプレイ、消毒液を設置しています。お客さまには入場前の検温とともにマスクの着用、せきエチケット、大声やトランペットを使用した応援禁止などを呼びかけるなど、安心してお楽しみいただけるよう、感染防止に万全の体制で臨んでいます。



密を避けた客席配置

入場ゲート前の検温用サーモグラフィと確認用ディスプレイ

【シーズン平均来場者数の比較】



2020シーズンのファイターズ戦は、無観客試合(6試合)から始まり、収容人数上限5,000人の期間(約2カ月)を経て、9月29日の試合から上限20,000人になりました。

2020シーズンのコンサドーレ戦は、上限5,000人の期間(約2カ月)を経たのち、収容率上限30%(1試合)をさみ、10月18日の試合から収容率上限50%になりました。

webサイト上にバーチャル札幌ドーム出現!

札幌市主催の「環境広場さっぽろ」と市民参加型のスポーツイベント「ほっかいどう大運動会」は当初の予定を変更してオンラインでの開催となりました。

2021年1月9～14日に開催された「環境広場さっぽろ」では、webサイト上のバーチャル札幌ドームに、道内外の企業・団体が約130ブースを開設。当社も「札幌ドーム環境クイズ」動画、SDGsや環境に関する取り組み内容を説明する展示データを配信しました。2月11～21日に開催された「ほっかいどう大運動会」の公式webサイトに出現したバーチャル札幌ドームでは、様々なスポーツ体験ができるオンラインイベントなどが開催されました。



「ほっかいどう大運動会」でのバーチャル札幌ドーム

展望台・トレーニングルームなどの 営業を再開

札幌ドームでは、2020年6月1日から総合案内、展望台、駐車場など一部施設の営業を再開。その後、屋外サッカー練習場、トレーニングルームなどがご利用いただけるようになりました。

展望台では、お客さまにマスク着用・手指消毒をお願いするとともに、利用申込書に連絡先・体調などをご記入いただいています。スタッフは、券売機やエスカレーターの手すり、展望台のガラス面などを定期的に消毒。また、エスカレーター乗降の際や展望台内では他のお客さまとの距離を保っていただくようご協力を呼びかけています。

トレーニングルームのご利用者さまへは、受付での利用申込書の記入と検温、手指の消毒、運動時を除くマスク着用、2時間程度のご利用をお願いしています。ご利用人数については、札幌市のガイドライン等に基づき最大人数を算出し制限しています。また、マシン間に飛沫感染防止のシートを設置しているほか、スタッフはトレーニングルーム内の定期的な消毒・換気を実施し、日々安全で快適な場を提供できるよう努めています。



受付で連絡先などを記入後、展望台へ

距離を保っての利用をお願いしている展望台への空中エスカレーター前



マシン間に飛沫感染防止シートを設置



トレーニングルーム内は定期的に消毒・換気



コロナ禍での「サッポロモノヴィレッジ」で、 札幌ドームのブランド価値を実感できました。

2016年度から札幌ドームの自主イベントとして開催している「サッポロモノヴィレッジ」は、北海道をはじめ全国で活躍する作家・クリエイターが集う北海道最大のハンドメイドフェスティバルです。2019年5月の開催時は約1,800ブース、来場者数は約33,000人と盛況でしたが、新型コロナウイルスの感染状況が道内で深刻化し始めた2020年3月の開催は残念ながら中止にせざるを得



ディスタンスを保ちながらイベントを楽しむ来場者

くなりました。

そして1年後、安全・安心な運営を最優先に考え、細部にわたる対策を講じた上で2021年3月の開催を決断しました。ブース数・来場者数は2019年5月開催の6割程度に抑え、各ブース間にディスタンスを設定、通路幅も拡張しました。ある企業出店者さまから「札幌ドームなら大丈夫だと参加を決めました」と言っていたが、札幌ドームとしてのブランド価値や信頼を確実に積み重ねられていると実感でき、大変うれしかったです。札幌ドームは、北海道で一番多くのお客さまにお集まりいただける場所。より楽しい時間を提供し、より多くの笑顔に出会えるよう、私自身もさらに力を込めて取り組んでいきます。

営業部
企画運営課
課長代理

吉田 健太郎

Yoshida Kentaro
2017年入社



「ホヴァリングサッカーステージツアー」を初めて実施

イベントがない日にドームの裏側を見学できる人気の「ドームツアー」。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年度は営業日数が少なくなりましたが、10月5日と28日の2日間限定で、屋外の「ホヴァリングサッカーステージ」に上られる特別ツアーを、感染対策を徹底しながら実施しました。参加者の皆さまには「ホヴァリングサッカーステージ上でボールを蹴るという、特別な体験ができてよかった!」と、喜んでいただきました。



普段は上がれないピッチ上でボールを蹴る参加者



プロと同じ目線で草野球をお楽しみいただける屋内アリーナ

選手と同じ舞台で草野球!

プロ野球が行われる屋内アリーナは、イベントや設備点検などで利用できない日以外は、一般の方の草野球やレクリエーションにお使いいただいています。2020年度は、利用人数を最大100人までに制限し、基本的な感染対策のほか入場前の利用申込書の記入、密を避けるために入退場口付近に滞留しないなどのご協力をお願いしました。1年間で13日の利用があり、計1,305人の皆さまにアリーナでのプレーをお楽しみいただきました。

医療従事者に感謝を込めて展望台を青色にライトアップ!

札幌ドームでは、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、医療従事者への感謝の意味を込めて、日本全国の主要施設を青く染める「LIGHT IT BLUEキャンペーン」に参加し、2020年5月8日から31日までの期間、展望台をライトアップしました。その後、札幌市が市内各施設に呼びかけて実施したブルーライトアップにも参加し、感染症の早期収束を願いました。



ありがとう! 医療従事者へ感謝を込めて



展望台の入場無料キャンペーンで、たくさんのお客さまの笑顔に出会えました。

札幌市が実施した「さぁ!まわろう SAPPORO~見どころ施設無料化月間」に伴い、2020年8月1日から31日まで、展望台の入場料を無料にしてお客さまをお迎えしました。

1カ月間の来場者は1万6,904人で、2019年8月と比較して6.4倍となりました。いまままでご来場のきっかけがなかったという近隣の方々も多く、足を運んで

いただく良い機会となったようです。

お客さまに不安なくお楽しみいただけるように、感染防止対策については事前にしっかり準備しました。予想以上にたくさんの方にご来場いただいたので、感染対策にはさらに気を配り、安心してスムーズに見学いただけるよう、スタッフみんなで連携しながら笑顔でのご案内を心がけました。この期間、いつも以上に大変だったスタッフにあらためて感謝するとともに、このキャンペーンでチームワークが一段と深まった気がしています。

これからも、札幌ドームの魅力をより多くの方に知っていただき、かけがえのない思い出づくりのお手伝いをしたいです。そんな非日常体験ができる貴重な場所で働けることは、私自身とても光栄です。

商業部
事業推進課
ドームツアー・
展望台・
インフォメーション
黒坂 祐美子
Kurosaka Yumiko
2004年入社



札幌市街の風景やアリーナを見渡せる展望台

「ナゾ解き×札幌ドーム」の第3弾を開催!

コロナ禍で遊びの場が減っている子どもたちのために、毎回大人気の「ナゾ解き×札幌ドーム」の第3弾「つぎはドコへ行こうかな?」を開催しました。当初は、開催期間を2020年12月8日~2021年1月29日としていましたが、好評にお応えして2月23日まで延長しました。舞台は、3階コンコースと展望台。お子さま向けのビギナー編と小学校高学年以上向けのチャレンジ編の2通りをご用意し、女の子からのヒントを手がかりに行き先を見つけるナゾ解きゲームを展開しました。計255人の参加者さまが、楽しみながら札幌ドームについての問題に挑戦。参加者全員に「オリジナル缶バッジ」を進呈し、チャレンジ編のゲーム達成者には、シリアルナンバー入りクリア認定証をお渡ししました。



3階コンコースと展望台がナゾ解きの舞台に



入場無料の「ゆきひろば」
営業時間/10:00~16:00
(*一部有料)

エキサイティング&スリリングな遊びが多彩!

過去最多の来場者! 「ゆきひろば」

札幌ドームの敷地内で、毎年1月から3月上旬まで開催している「ゆきひろば」。そり、チューブ、スノーラフティング、雪上ストラックアウト、雪上キックターゲット、スノーダイビング、ミニスキーなど盛りだくさんの遊びを体験できる、大人気の企画です。子どもはもちろん大人も思わず童心に返り、雪で真っ白な広場に明るい歓声が響いていました。2020年度の来場者は、クロスカントリースキーコースの利用者も合わせて11,446人と過去最多。コロナ禍の中でも、例年の倍以上の皆さまにお楽しみいただきました。



雪原を無邪気に走り回る子どもたちに、私も元気をもらいました!

「ゆきひろば」では、何よりもお客さまの安全を最優先に営業しています。2020年度は、感染防止対策も徹底。屋外にも消毒液を設置し、スノーラフティングのボートやヘルメットは使用ごとに消毒するなどスタッフみんなでしっかり気を配りました。また、密になりやすいスノーラフティングのご利用前には検温をお願いしました。



子どもたちの笑顔は、札幌ドームの宝物です

ほとんどが札幌周辺の皆さまでした。コロナ禍で存分に遊べない子どもたちが、真っ白い広場を笑顔で走り回る姿がとてうれしく、私も元気をもらいました。また、ある年配の女性の方から「私もチューブで滑っていいですか?」と聞かれ、「ぜひ!どうぞ!」とおすすめしたこともありました。コロナ疲れの大人たちにも、久しぶりの雪遊びを楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

建物が完成する前に入社した私にとって、札幌ドームは特別な場所。良いお客さまに恵まれ、感謝でいっぱいです。アリーナだけではなく屋外のおもしろさもより多くの方に知っていただき、これからも応援される施設へと育てていきたいです。

施設部
施設管理課
担当課長
遊佐 美穂
Yusa Miho
1999年入社



スポーツ・エンターテインメントの力で 持続可能な社会の実現に貢献します。

すべてのお客さまに支えられて、開業20周年を迎えた2021年。
次の10年、そして2050年へ向けて、より多くの夢と感動をお届けし、
事業を通して社会課題の解決や地域社会の発展にお役に立てるよう、
札幌ドームでは、「新中期経営計画」「新長期ビジョン」の策定準備を進めています。
北海道のスポーツ・エンターテインメントの発信地として市民道民の皆さまに末永く愛され、
持続可能な社会の実現に貢献できる施設を目指します。

経営理念

Our Mission, Value, Vision

私たちはエンターテインメントビジネスを通して、
常に最高のホスピタリティを追求し、
すべてのお客さまの夢と感動を実現する
ステージを創造します

- エンターテインメントビジネス: すべてのお客さまをもてなし、楽しんでいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
- ホスピタリティ: 思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人とが心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
- ステージ: 空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。

開業30周年、そして2050年に向けて私たちが取り組むべき課題

施設としての 持続可能性 の追求

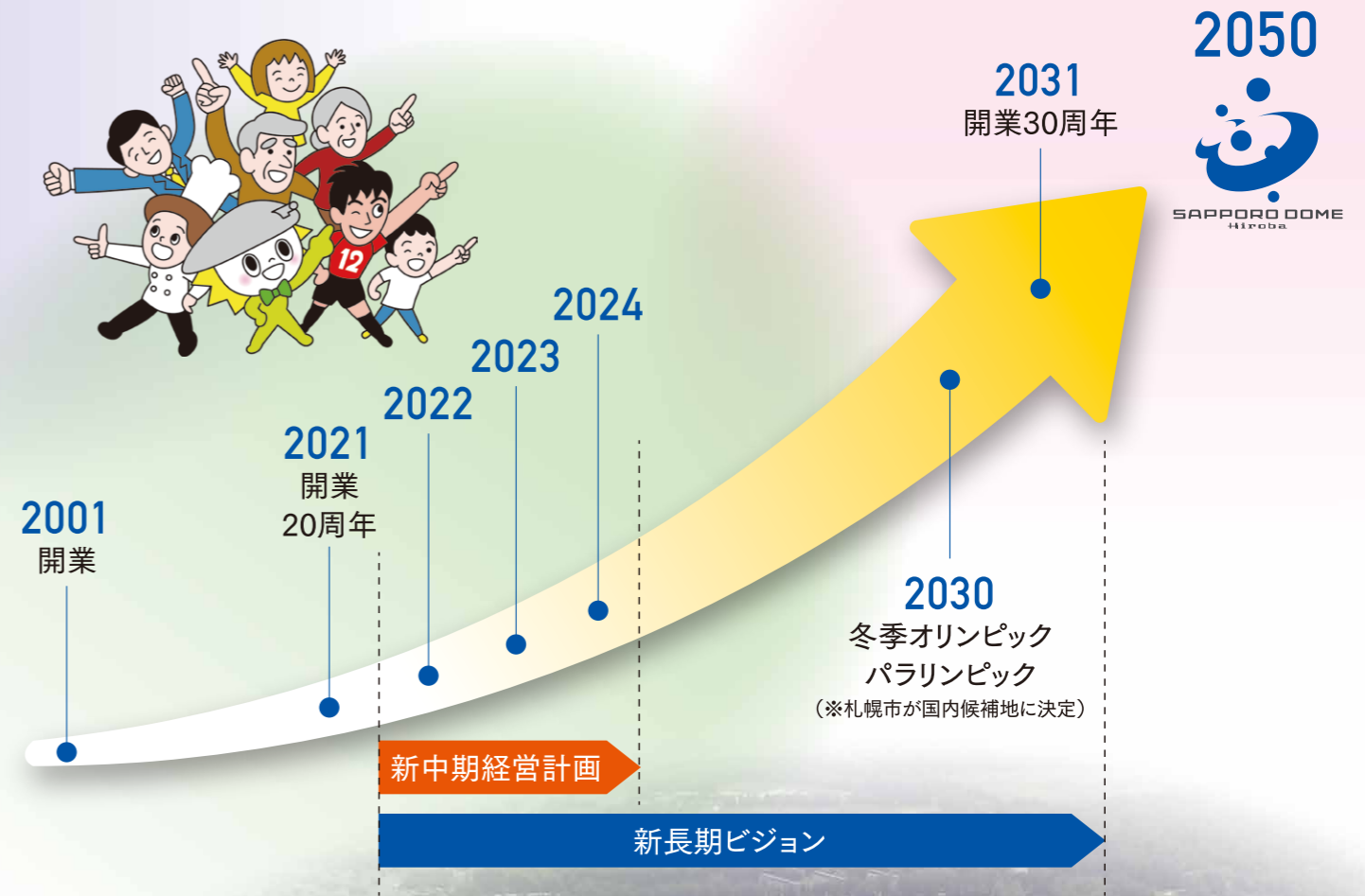
- 価値観や趣味の多様化に応えるイベント開催
- 時代やニーズの変化に合わせた施設改修・更新
- 地球環境保全への継続的な取り組み
- 人権・労働環境に配慮した管理運営
- ステークホルダーとのパートナーシップの尊重

SDGsを意識した
事業活動の展開



脱炭素社会の実現に向けて

温室効果ガス排出の実質ゼロを目指す「脱炭素社会」の実現のため、札幌ドームでは、エネルギー使用量・CO₂排出量のさらなる削減を進めるとともに、施設運用の脱炭素化に向けた取り組みに力を注いでいます。また、2031年を目標とする新たな環境目標の検討も進めています。美しい地球を次世代へ残すために、私たちは「環境にやさしい施設」を目指す活動を推進します。



札幌ドームから周辺への広がり
誰もがより気軽に
スポーツやエンターテインメントを楽しめる空間へ

私たちが社会に
提供する価値

地域から
世界への
つながり

健康で
心豊かな人生

魅力と活気
あふれる
地域社会

北海道コンサドーレ札幌

札幌ドーム



株式会社コンサドーレ
競技・運営部
葛西 駿平氏
Kasai Shunpei

世界に誇る札幌ドームのすばらしさを多くの皆さまに発信していきたい。

札幌ドームは開業当時からホームスタジアムとして使わせていただいております。クラブにとって欠かせない存在です。担当の大森さんをはじめスタッフの皆さまには、日頃からさまざまな要望に柔軟に対応していただき、本当にありがたいと思っています。

特に2021年2月のホーム開幕戦では、雪の積もった天然芝のピッチを短期間でベストコンディションに仕上げてくださいなど、メンテナンス技術の高さを実感しました。また、この日に合わせ、クラブと札幌ドームのダブル周年記念を祝うスペシャルデーを大森さんと一緒に企画し、お客さまとの一体感を感じられる演出で開幕戦を盛り上げることができました【P.5参照】。

札幌ドームは、世界に誇る唯一無二のスタジアム。今後は、試合のない日も含めて日常的に、コンサドーレと札幌ドームのパートナーシップを感じてもらえる企画を増やしたいと考えています。「一緒にいろいろな活動をしているんだね」と感じてもらい、サポーターや地域の皆さまに札幌ドームのすばらしさをさらに発信していきたいと思っております。

大森さんは、
親しみやすく、
気軽に相談に乗ってくれます。



葛西さんとは
風通しの良い関係
リスペクト
しています！

僕たちが、ホームスタジアムを盛り上げる！

現場を運営する若手担当者2人が、クラブと札幌ドームの未来を語ります。

パートナーシップを生かした取り組みで、気軽に足を運んでもらえる機会を。

Jリーグは開幕時期が年々早まる傾向ですが、積雪地の札幌で冬に天然芝を生かすのは至難の業です。当社施設部では、そのために日々、芝の研究を続けています。2月の開幕戦に向けた準備では、ピッチに積もった雪を重機と手作業で4日間かけて除雪し、乾燥させる作業を行いました。

葛西さんとは気軽な意見交換も多く、「こんなことをやりたい」という要望をよくいただきます。施設の安全管理上、難しいケースもありますが、まずはできる方向で考え、提案することが大事だと思っています。そうして築いてきたコンサドーレさんとの協力関係を、葛西さんと一緒に開幕戦のスペシャルデーという形で実現できたことは、とても達成感がありました。

今後は、パートナーシップを生かした取り組みを増やし、試合のない日でも、お客さまが気軽に札幌ドームに足を運ぶ機会につなげるのが理想です。例えば、大型ビジョンでアウェイの試合を楽しめるビアガーデンなどもいいですね。ファンやサポーターだけでなく、幅広く多くの皆さまに、年間を通してコンサドーレの魅力を感じてもらえたらと思います。



営業部
営業一課
大森 大希
Omori Daiki
2016年入社

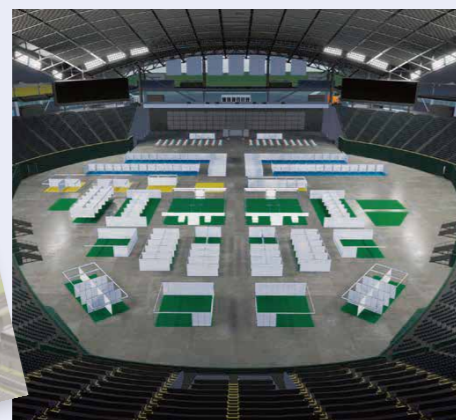
よりコンパクトにご利用いただける「アリーナ分割モード」の導入でさまざまなイベントに対応

札幌ドームでは、2023年以降の安定経営に向けた施策の一環として、よりコンパクトに札幌ドームをご利用いただける「アリーナ分割モード」の計画を進めています。

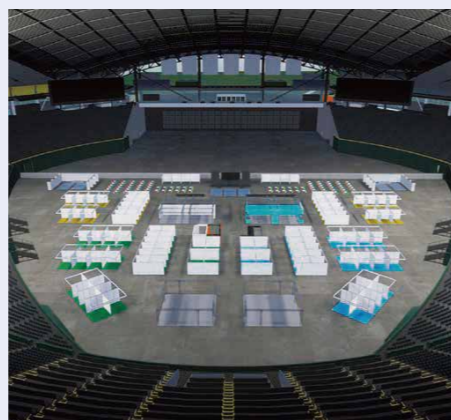
アリーナ分割モードは2022年11月から運用開始予定で、いままで全面利用のみだったアリーナを、分割利用によって

より使いやすく、より多様なニーズにお応えするための新しい利用形態です。全面利用(左)の場合、17,800m²で1万人収容、基本料金は1日440万円(消費税別)。「アリーナ分割モード」による分割利用(右)の場合は、9,000m²で8,200人収容、基本料金は1日220万円(消費税別)となります。

全面利用



分割利用(アリーナ分割モード)



お客さまの“心の色”を輝かせる多目的施設として幅を広げていきます。

北海道最大規模の全天候型多目的ドームとしての価値を広く発信しようと、札幌ドームは、2021年2月24~26日に幕張メッセで開催された「イベント総合EXPO」に出展しました。私が担当した札幌ドームのブースにも多くのイベント関係者さまが商談に訪れ、札幌ドームの全国的な知名度の高さをあらためて実感しました。



札幌ドームブースには3日間で約700人の方にご来訪いただきました

その中で、アリーナ分割モード【P.23参照】のご案内をしたところ、「プロスポーツやコンサート以外にも、イベント利用ができるんですね」といった好反応が多くありました。従来の全面利用に比べ、アリーナ分割モードは約半分のスペースで料金は半額というプランなので、中規模イベントの主催者さまには、より現実的な選択肢としてご検討いただけたと思います。

札幌ドームは、来場されるお客さまの喜びや楽しさなど“心の色”を輝かせる特別な場所。今後も札幌ドームがさまざまな色で彩られるよう、多目的施設としての幅を広げることが、札幌ドームの新たな価値の創造と文化振興への寄与につながると考えています。

営業部
営業一課
坂本 優太
Sakamoto Yuta
2017年入社



札幌ドームのCSR

当社は、札幌ドームを管理運営するために札幌市が55%出資して設立されました。そのため、札幌ドーム条例第1条に定める施設の設置目的は、当社が果たすべき第一の使命となります。したがって、当社の事業活動の成果は、広く市民の皆さまや地域社会に還元されていくべきものであり、私たちにとってのCSRとは経営そのものであると考えています。

私たちにとってCSR経営を推進することは、社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させるだけでなく、社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献し、さらには、自らの業務や会社への誇りを醸成し、社員一人ひとりのモチベーション向上と組織活性化にも寄与していくものだと考えています。

札幌ドーム条例 第1条 本市は、内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与するため、札幌市豊平区羊ヶ丘に札幌ドームを設置する。

私たちにとってのすべてのお客さま

札幌ドームを舞台に活躍する皆さま、
観戦鑑賞のためにご来場される皆さま、観光で訪れる皆さま、
札幌ドームを支え、ともに働く皆さま、札幌ドームのある街に暮らす皆さま、
そのすべての皆さまが、私たちにとって大切なお客さまです。

行動指針

Guiding Principles

—すべてはお客さまのために—

- 1 お客さまと意思を一つにし、喜びと感動を共有することで、ホスピタリティあふれるサービスを提供します
- 2 お客さまの安全を最優先に考え、常に安心して楽しんでいただける環境をつくります
- 3 お客さまの声に真摯に耳を傾け、サービス向上に努めるとともに、公平性を確保し、誠実で良識ある行動を心がけます
- 4 事業活動に伴う環境負荷を正しく把握し、札幌ドーム「環境方針」の実現に向けて更なる取り組みを進めます
- 5 札幌ドームならではの社会貢献活動に取り組み、地域の発展と豊かさの実現に寄与します
- 6 社会の一員として、高い倫理観をもって法令・規則等を遵守し、反社会的勢力には毅然として対応します
- 7 公共性を意識した健全な事業活動を推進し、公正かつ適正な取引を行います
- 8 企業情報を公正に開示して説明責任を果たすとともに、個人情報等の各種情報を適正に管理します
- 9 多様な人材と個性を尊重するとともに、規律と協調を重んじ、安全で働きやすい健康的な職場をつくります
- 10 高い理想を掲げ、責任と誇りと思いやりの心をもって行動し、更なる成長をめざします

私たち一人ひとりが札幌ドームです

札幌ドームの5つの視点

当社では、CSR経営を推進するため、5つの視点による取り組み課題を設定するとともに、SDGsを意識した事業活動を行っています。



子ども向けの「SDGs神経衰弱」など遊びながら学べる企画を展開

当社では、2018年以降、SDGsに関する考え方をより深化させたCSR経営に取り組んでいます。「環境広場さっぽろ」や「スポーツバイキング」など地域連携型のイベントには、当社の環境啓発ブースを出展。子ども向けの環境クイズやパネル展示のほか、オリジナルのゲーム「SDGs神経衰弱」を実施しています。計28枚のカードの表面には当社と関わりの深いSDGsの活動内容、裏面には関連するSDGsアイコンが描かれており、活動内容を見てカードをめくり、同じアイコンが揃えば成功となります。当社がSDGsの課題解決に向けてどのような活動をしているのか、子どもたちに遊びながら学んでもらおうと考案しました。今後もより多くの方に札幌ドームやSDGsへの関心を深めていただくための企画を実施し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。





すべてのお客さまのために

より多くのお客さまが最高のエンターテインメントを楽しみ、心の豊かさを感じられる「場」であるために。常に安全・安心を第一に、「夢と感動のステージ」をお届けしています。

2つのプロチームとともに。

札幌ドームは、開業当初よりサッカー「北海道コンサドーレ札幌」のホームスタジアムであり、2004年には「北海道日本ハムファイターズ」を迎え入れました。サッカーと野球の2つのプロチームの本拠地となっている世界でも数少ないスタジアムです。



北海道コンサドーレ札幌

©2019 CONSADOLE



北海道日本ハムファイターズ



スポーツ&エンターテインメントの発信地として。

札幌ドームでは、野球・サッカー以外の多種多様なスポーツイベントやコンサート・コンベンションのほか、当社が企画・運営する自主イベントも開催しています。ドームのスケールを生かしたダイナミックな演出で、より多くのお客さまの心に残る感動を創り出しています。



ラグビーワールドカップ2019™日本大会



北海道最多の観客を動員できるコンサート



スケールを生かし密を回避できるアリーナイベント

お客さまの声をかたちに。

札幌ドームが皆さまにとってより安全・安心・快適な施設となるように、インターネットアンケート「札幌ドーム オンラインリサーチ」を2012年度より実施。2020年度は例年同様、100名のモニターの皆さまにご登録いただきました。3回のアンケート結果はwebサイトに公開し、より良い空間づくりに生かしています。なお、2020年度の「モニター座談会」は、コロナ禍のため実施できませんでした。



2019年度に開催した「モニター座談会」

震災の経験から防災を一層強化。

2018年の北海道胆振東部地震における教訓を生かし、防災への取り組みを一層強化。防火・防災講習会や関係機関との総合防災訓練を繰り返して万一の事態に備えています。社員は災害時の対応要領を記載した防災カードを携帯し、日頃から防災を意識しています。また、大規模イベント開催時の警備・救命体制を整えるなど、お客さまの安全確保のための取り組みを行っています。



イベント開催時などを想定して行う総合防災訓練



地域社会とともに

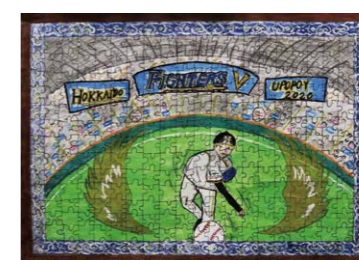
市民の皆さまに親しまれ、地域の皆さまの日常風景の一部でありたいと考え、札幌ドームは、「地域の一員」としてさまざまな活動に積極的に参加。地域社会の発展に貢献できるよう、さらなる成長を目指しています。

プロ野球開幕戦で販売予定だったお菓子を寄贈。

市民の皆さま、特に近隣の子どもたちにとって身近な存在であるために何ができるかを考えている札幌ドームでは、2020年4月に東月寒まちづくりセンターと福住まちづくりセンターに「ファイターズかすてら焼」を合計466個寄贈しました。当初、3月に開幕予定だったプロ野球の公式戦が新型コロナウイルス感染拡大により延期となり、販売できなくなったお菓子を児童会館などを利用している子どもたちに食べてもらおうと考案。大変喜んでいただき、私たちは子どもたちの笑顔という、何よりのお返しをいただきました。



お菓子を受け取った地域の子どもたちから喜びのメッセージが届きました



「羽撃けファイターズ!! ~UPOPOY2020~」

羽田野 龍千さん(小学5年生)



すべての応募作品に子どもたちの夢が詰まっていた

夢をイキイキと表現！10回目を迎えた絵画展。

札幌ドーム開業10周年を記念して2011年から開催している「札幌ドーム ども絵画展」は、2020年で10回目となりました。全170点の応募作品の中から入賞作品22点を決定しましたが、コロナ禍を考慮して表彰式は行いませんでした。子どもたちの夢と想像力あふれる力作のすべては、1か月半ほど札幌ドーム南北連絡通路に展示しました。



学生たちの実践的な学びをお手伝い。

2020年10月に、藤女子大学と連携協定を結び、人間生活学部人間生活学科のプロジェクトマネジメント基礎演習に協力しました。学生たちはグループに分かれて当社から提示したテーマを検討。スタジアムグルメと展望台への集客施策について、自由な発想でのさまざまな企画・アイデアが発表されました。実践的な学びをお手伝いするという経験は、私たちにとっても貴重な学びの機会となりました。



藤女子大学で当社の事業活動について講義する機会をいただきました

交通安全街頭啓発活動に参加。

東月寒まちづくり協議会による「東月寒地区交通安全街頭啓発」が2020年10月に実施され、当社の社員も参加。国道36号に沿って並び、他の参加事業所の方々や羊丘小学校の児童など約500人とともに、「交通安全」の黄色い旗を手に持ってシートベルト着用やスピードダウンを呼びかけました。「子どもたちが安心して住めるまち」の実現のために、これからも啓発活動を継続していきます。



札幌市から「さっぽろまちづくりスマイル企業」として認定され、活動しています。





公正に事業を推進するために

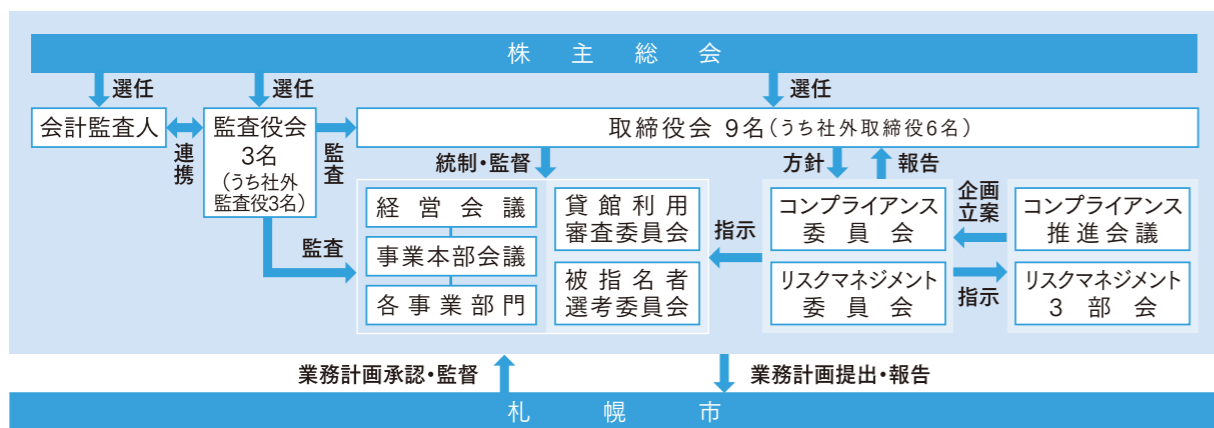
私たち株式会社札幌ドームは、信頼される企業であるよう、公正に事業を推進し、コンプライアンスを徹底するとともに、リスク管理のための体制づくり、社員の意識向上に努めています。

信頼される企業であるために。

当社は、札幌市が55%出資する出資団体として、また「札幌ドーム」の指定管理者として、公正に事業を推進するため、以下のようなコーポレートガバナンス体制をとっています。



■ コーポレートガバナンス体制



3部会を設置し、多様なリスクへ迅速に対応。

リスク管理のため、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置し、対応方針を制定するとともに、具体策の企画立案を行う3つの部会を設置しています。

■ 3つの部会と主要テーマ

経営管理リスク部会 コンプライアンス、業績および投資等に関する事項	事業運営リスク部会 イベント・施設設備管理、災害・パンデミックに関する事項	危機管理部会 危機管理マニュアルの策定・運用
---	---	----------------------------------

コンプライアンスの徹底へ。

当社では、「コンプライアンス委員会」と同委員会のもとで具体策を企画立案する「コンプライアンス推進会議」を設置し、コンプライアンスの徹底・浸透に努めています。社員に対しては、全員が参加する「コンプライアンス集合研修」を定期的実施。弁護士や社会保険労務士を招いての講演などを開催しています。

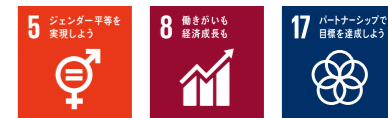
また、法令違反や不正行為などの未然防止・早期発見のため、複数の社内窓口と当社顧問弁護士による社外窓口を設置し、事案が起きた際に適切に対応できる体制を整備しています。

情報セキュリティを強化。

パソコン等の業務用端末の利用に際し、情報漏洩事故を未然に防ぐ対策を徹底。全社員に対して情報リスクについての知識を深める研修を実施し、セキュリティ意識の向上を図っています。また、セキュリティ機器を導入し、監視を行うことにより、異常があったときには早急に対処できる体制を整えるなど、日々、セキュリティ強化に取り組んでいます。



2020年度に開催された「サイバーセキュリティ」に関する研修



社員とともに

お客さまに最高のホスピタリティを提供するためには、全社員が日々成長するとともに、安心して働ける環境が必要です。当社では、誇れる仕事・職場を目指し、さらなる取り組みを進めています。

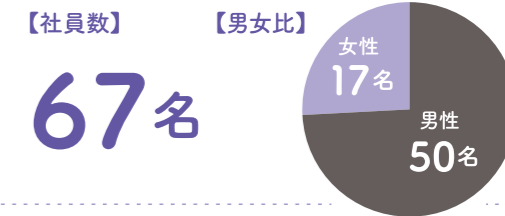
全社員が安心して働ける環境を整え、誇りに思える職場へ。

イベント開催などを考慮したシフト制による勤務体制や社員の福利厚生・健康増進への取り組み、資格取得の支援などを通して、ワークライフバランスの推進に努めています。

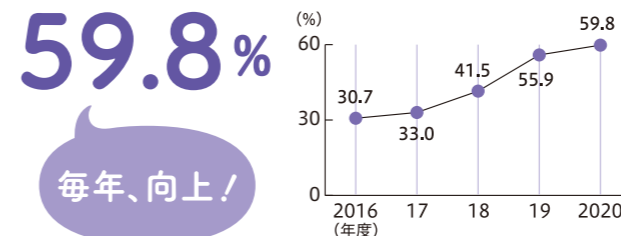


■ 社員数(2021年6月現在)

平均年齢は42.0歳で、前職のある社員が多いのが特徴です。男性の割合が多いですが、男女や世代の区別なく先輩と若手が一体となって意見を出し合いながら、日々前向きに仕事に取り組んでいます。



■ 有給休暇取得率(2020年度)



2016年度に30%ほどだった有給休暇取得率は、年々着実に高まり、2020年度は60%近くに向上しました。義務化された年5日の全員取得はもちろんのこと、連続休暇の取得も積極的に推奨。政府目標の70%に近づけるよう、今後もONとOFFメリハリのある働き方を心がけていきます。

■ 5日以上連続休暇取得を推進

当社では、原則5日以上、休日と合わせて7~9日程度の連続休暇の取得を推奨。2020年度は社員の90.9%が取得しました。



当社は、札幌市のワーク・ライフ・バランスplus認証企業として、さまざまな取り組みを進めています。

■ リフレッシュ休暇を導入

社員一人ひとりの心身のリフレッシュを目的に、年次有給休暇のほかに夏季休暇の代わりとなる5日間のリフレッシュ休暇を導入。いつでも取得可能で、全社員が取得しています。



■ 福利厚生の充実

札幌ドームの試合観戦の機会を設けるなど、幅広い福利厚生メニューを提供。2種類の福利厚生サービスに加入し、社員が安心して仕事に向き合える環境づくりに力を注いでいます。

■ 健康増進への取り組み

社員の健康を第一に考えて、全社員が受診する年2回の健康診断とストレスチェックを実施しています。また、勤務後などの心身のリフレッシュに役立てられるよう、札幌ドーム内のトレーニングルーム利用料金の一部を助成しています。

■ 資格取得を応援

社員の能力とモチベーション向上のために、当社では資格取得奨励制度を設けています。業務に必要な資格取得には受講料や登録料、交通費などを支給、キャリアアップを目指すための任意の資格取得には試験料・登録料のほかに報奨金を支給しています。



■ 社員の交流を促す同好会制度

当社では、社員が業務だけではなく趣味や特技、興味を通して交流できるよう、同好会制度を設けています。



コロナ前最後(2020年2月)の「ほっかいどう大運動会」に参加した「札幌ドームスポーツ同好会」



環境にやさしい施設を目指して

札幌ドームでは「環境方針」を実現するために、数値目標を策定。お客さまにご協力をいただきながら、未来の子供たちのために「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。

【札幌ドーム環境コンセプト】

札幌ドーム ECO MOTION
～ひとりひとりがエコプレイヤー～

札幌ドーム
環境シンボル
マーク



札幌ドームは、札幌市環境マネジメントシステムを通じて、地球温暖化対策および環境配慮の推進に努めています。

【環境方針】

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、

札幌ドームを環境にやさしい施設として

維持し続けることを使命として、

訪れるすべてのお客さまとともに、

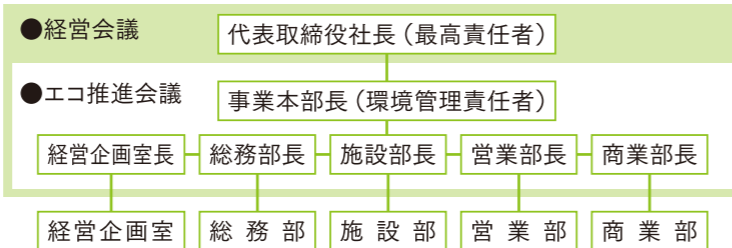
よりよい環境づくりに向けて取り組みます

(2008年3月策定)

環境への取り組みを推進するために。

「エコ推進会議」では、事業活動に伴う環境負荷データと、年度ごとの部門別環境施策の進捗状況や新たな課題について討議しています。

■エコ推進会議の位置づけ



子どもたちや市民の皆さまに豊かな敷地環境を体感していただくための自然観察会を実施しています

敷地内を人と自然が共存できる環境に。

札幌ドームは、「景観および野鳥などの生態系に配慮すること」を前提に建設されました。建設後も定期的にモニタリングを続け、敷地内の環境が健全に機能しているかを確認しています。また、生き物にとって必要な植物を残しながら草刈りをするなど、日頃から丁寧な管理を心がけています。その結果、敷地内を訪れる生き物の種類は、建設前より大幅に増加しました。子どもたちや市民の皆さまに自然豊かな敷地環境を知っていただくため、専門の講師による野鳥観察や昆虫採集などの自然観察会も実施しています。

「未来へつなぐ! 北国のいきもの守りたい賞」を受賞。

北海道では、2017年から、生物多様性の保全などに関して優れた活動・模範的な活動を行う企業、団体、個人を表彰しています。2020年度は、当社が「北海道生物多様性保全実践活動賞(通称:未来へつなぐ!北国のいきもの守りたい賞)企業部門」を受賞しました。

評価された2つのポイントは、①子ども向けの環境啓発活動を継続的に実施し、生物多様性保全に関する意識を高めていること、②敷地の長期モニタリングおよび維持管理により、観察される生物が以前より増加していること、です。これまでの取り組みが認められ、未永く敷地環境を守り続けるという思いを新たにしました。



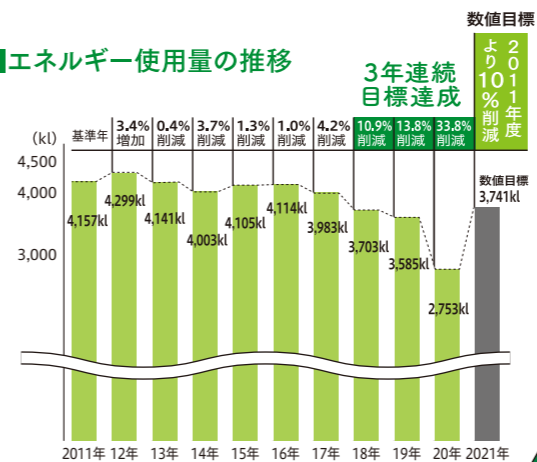
2021年2月に北海道庁で賞状と副賞が授与されました

【2021年に向けた数値目標 1】

エネルギー使用量を2011年度より10%削減します。

札幌ドームでは、省エネ型の設備の導入、自然換気や自然光の積極利用、スタンド席の局所空調の採用、照明のLED化などを順次進め、お客さまの安全性や快適性を保ちながら、エネルギー使用量の削減に取り組んでいます。3年連続で数値目標を達成しましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症によるイベント中止などにより、大幅にエネルギー使用量が減少したことが達成の要因です。さらなるエネルギー使用量削減を図るため、今後館内すべての照明のLED化を予定しています。

■エネルギー使用量の推移



【2021年に向けた数値目標 3】

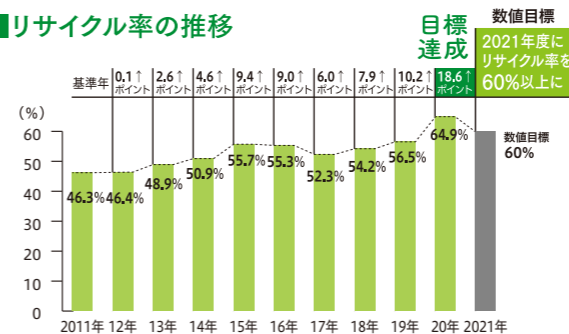
リサイクル率を60%以上にします。

館内各所にリサイクルポスト(分別ごみ箱)を設置して、一般ごみ、紙ごみ、容器包装プラスチック、プラカップに分けたごみの分別をお客さまにご協力いただいています。イベント時は、分別を案内するスタッフの配置や大型ビジョンでの分別の呼びかけなど、より多くのお客さまにご協力いただけるよう工夫しています。2020年度は非リサイクルごみが減少したことも影響し、目標達成となりました。



英語表記により外国の方にも分別回収にご協力いただいています

■リサイクル率の推移



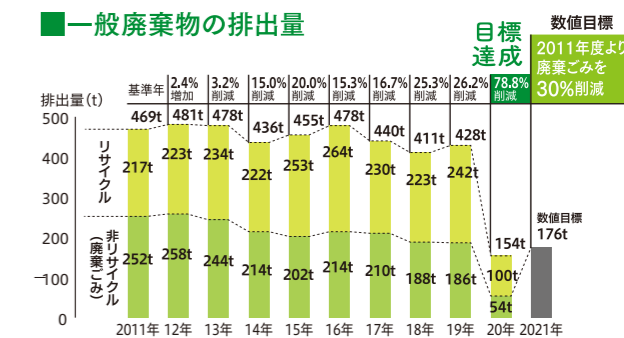
【2021年に向けた数値目標 2】

廃棄ごみを2011年度より30%削減します。



札幌ドームでは、お客さまにもご理解とご協力をいただきながら、主催者さま・委託事業者さまとともに廃棄物の削減に取り組んでいます。芝生の更新作業で発生する芝ごみを堆肥にリサイクルすることによって廃棄物を大量に削減。売店や事務所などから排出される事業系ごみは細かく分別して回収しています。2020年度はイベント中止に伴い来場者数が激減したことにより、ごみの排出量も大幅に削減されました。

■一般廃棄物の排出量



【2021年に向けた数値目標 4】

30種以上の鳥が訪れる環境を維持します。

札幌ドームは、農耕地と都市をつなぐ「スポーツの庭」としてつくられました。北と西には人が暮らす街があり、南と東には森や畑が広がっています。周囲の環境や生態系に配慮しながら敷地の維持管理を行い、人と生き物を守る取り組みを積極的に進めています。



鳥の種類 36種類、チョウの種類 35種類、トンボの種類 30種類

【2021年に向けた数値目標 5】

環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします。

2020年度は、コロナの影響によりイベント開催時の「環境啓発ブース」の出展や自然観察会などが実施できず、環境啓発企画への参加者は1年間で394人とどまり、延べ人数は79,830人となりました。

P.13「数字で見る札幌ドームの20年」クイズの答え

●札幌ドームで最も多くゴールを決めたプロサッカー選手は、都倉賢選手（V・ファーレン長崎）で通算37ゴール。北海道コンサドーレ札幌に在籍した2014年度には、札幌ドームMVP賞に輝きました。



●札幌ドームで最も多くホームランを打ったプロ野球選手は、中田翔選手（北海道日本ハムファイターズ）で通算106本。2020年度には札幌ドームMVP賞に輝きました。

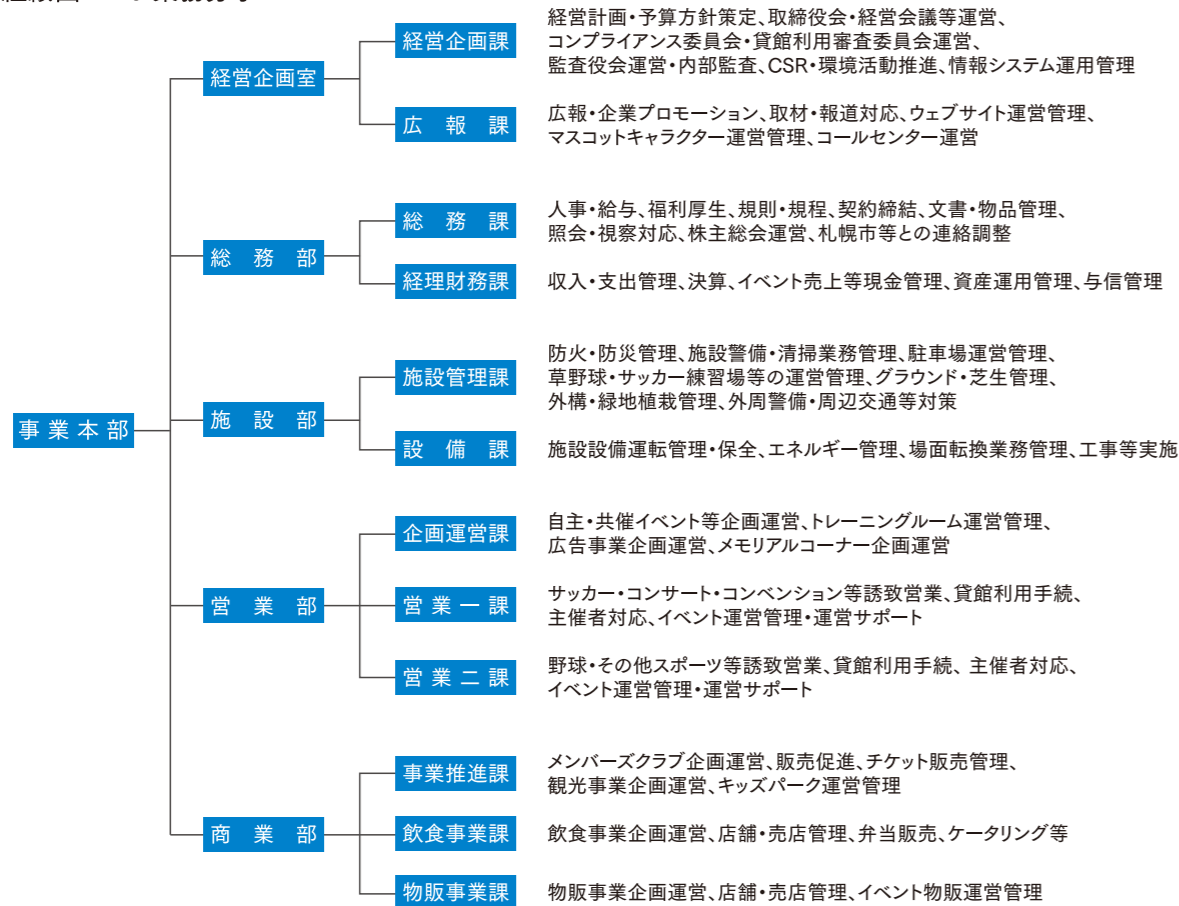


〈資料〉

●会社概要

商号	株式会社札幌ドーム	資本金	10億円
所在地	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地	売上高	18億6,877万円(2021年3月期)
代表者	代表取締役社長 山川 広行	社員数	67名(2021年6月現在)
設立	1998年10月1日	開業日	2001年6月2日
事業内容	札幌ドームの管理運営業務全般 [地方自治法および札幌ドーム条例等の規定に基づく札幌ドーム指定管理者] 1. 貸館事業 アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出およびイベント運営サポート 2. 商業事業 ドーム内の飲食物販事業の管理運営 3. 観光事業 ドーム展望台およびドーム見学ツアーの運営 4. 市民利用事業 草野球、サッカー練習場およびトレーニング室の一般市民利用管理 5. 広告事業 ドーム内広告看板の販売管理 6. 駐車場事業 ドーム駐車場の管理運営 7. チケット事業 各種イベントのチケット販売管理		
株主	札幌市(55%)、札幌商工会議所、北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、(株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)電通グループ、(株)電通北海道、(株)大広、東日本電信電話(株)、(株)近畿日本ツーリスト北海道、(株)NTT東日本一北海道、(株)NTTネクシア、北海道キリンビバレッジ(株)、サントリービバレッジサービス(株)、(株)JTB、(株)JTB商事、北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)		

●組織図および業務分掌



一般財団法人
CSOネットワーク
代表理事

古谷 由紀子
(ふるやゆきこ)

サステナビリティ消費者会議代表、CSRレビューフォーラム共同代表。「DX時代における企業のプライバシーガバナンス」(経産省)などの委員を務めるほか、主な著書として「現代の消費者主権」(2017年)などがある。

豊かな未来のために
果敢な挑戦を

SDGsなど
着実なCSRの取り組み

札幌ドームのCSRは、「最高のホスピタリティを追求する」という経営理念のもとに、行動指針や5つの視点を定め、SDGsを導入したマテリアリティを選定し、着実に取り組んでこられました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大はビジネスに多大な影響をもたらしましたが、札幌ドームでは、市民道民の安全対策に熱心に取り組む、多くの人々に夢と感動のステージを提供してきました。

新長期ビジョン・
新中期経営計画への期待

現在、2022年度からの新長期ビジョン・新中期経営計画策定の準備をされていることから、今後、札幌ドームが「スポーツ文化パーク」としてCSRを一層進展させていくために、「5つの視点」を考慮しながら期待を述べたいと思います。

第一に、現在、地球温暖化が地球と将来の世代をリスクにさらしている

ことから、スポーツ部門にも気候変動への大きな役割が期待され、スポーツ界と国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局により「スポーツを通じた気候変動枠組み」が策定され、それに賛同するスポーツ団体の署名が広がっています。この枠組みは、戦略を定めて、運営、イベント等を通じて気候への影響を削減していくだけではなく、スポーツ団体やイベントの主催者にスポーツの力でファンの行動変容を起こすことも期待しており、札幌ドームにおける視点1「すべてのお客さまのために」と視点5「環境にやさしい施設を目指して」の取り組みの進展にもつながっていくものと思われます。

第二に、視点2の「地域社会とともに」の強化として、地域の拠点の充実が期待されます。札幌ドームでは、これまで地域で培ってきたネットワークを生かし、市民道民やファンなどさまざまなステークホルダーとともに、スポーツや文化の発信、持続可能な社会への取り組みをリードしていくことができるのではないかと思います。

第三に、現在、企業にはさまざまな場面での人権尊重の取り組みが求め

られており、その際にビジネスにおける人権の負の影響を減らすために「ビジネスと人権に関する指導原則」の導入が急速に進んでいます。これは視点4「社員とともに」に関わるだけではなく、委託事業者を含めたステークホルダーの人権尊重の取り組みの充実につながるものと考えられます。

第四に、視点3「公正に事業を推進するために」のガバナンスについて、現在、コーポレートガバナンス・コードが改訂され、取締役会において、地球環境問題、人権の尊重、従業員の公正・適切な処遇、公正・適正な取引など持続可能な社会を巡る課題への対応が盛り込まれようとしています。取締役会やCSRの取り組み体制にサステナビリティの専門家の関与などを検討していく必要があると思われます。

いま、私たちは社会の変化に戸惑いながらも、豊かに暮らすためにはスポーツや文化が欠かせないものであることを実感しています。札幌ドームが、今後もエンターテインメントビジネスを通して、豊かな未来のために果敢に挑戦していくことを願っています。



2016 © SAPPORO DOME

札幌ドームマスコットキャラクター

チャームコロン



札幌ドーム開業15周年を迎えた2016年、
札幌ドームの妖精「チャームコロン」が誕生しました。
お客さまをはじめ札幌ドームに暮らす生き物に寄り添うマスコットキャラクターとして、
さまざまな場面で札幌ドームの魅力を伝えています。
着ている「グリーンスーツ」は、植物の繊維からできた特殊素材で、
どんな衣装にも変身できます。



愛称

チャーム

誕生日

札幌ドーム開業15周年を迎えた
2016年6月2日

生まれた場所

札幌ドームの森

性格

心穏やかでやさしい
好奇心旺盛

好きなこと

札幌ドームに暮らす
生き物たちと遊ぶこと
札幌ドームで行われる
イベントに参加すること

特技

さまざまな生き物の気持ちに
寄り添うことができ、
だれとでも仲良くなれること



株式会社 札幌ドーム

〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL.011-850-1000(代表) FAX.011-850-1011

発行:2021年6月 ※2021年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。

アンケートご協力をお願い



「札幌ドームレポート2021」をお読みいただき、ありがとうございました。
ぜひ、左記QRコードまたは当社webサイトからアクセスしていただき、
本レポートについてのwebアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。
皆さまのご意見やご感想をお待ちしております。